

特別企画展

史跡小峰城跡石垣修復完了・小峰城歴史館開館記念

白河藩主 七家二十一代

令和元年8月10日(土)～10月14日(祝)

歴代藩主ゆかりの資料、一堂に集結

寛永4年(1627)、白河藩が成立して以来、慶応2年(1866)までの239年間の歴代藩主は、初代の丹羽家を皮切りに、榊原、本多、松平(奥平)、松平(結城)、松平(久松)、阿部と7家21代を数えました。歴代藩主には、徳川一門の親藩や譜代大名が配置され、白河を「奥州の押さえの地」として重視した幕府の姿勢があらわれていると言えます。

また、歴代藩主が居城とした小峰城は、先の東日本大震災により、特徴でもある石垣が大きな被害を受けましたが、平成31年3月、崩落した石垣の修復が完了しました。あわせて、白河集古苑をリニューアルした施設が「小峰城歴史館」としてオープンしました。

これらを記念して、小峰城を居城として白河を治めた、歴代藩主にまつわる歴史資料や美術品を、初めて一堂に会した特別企画展を開催します。

イベント事業

①郷土講演会(市立図書館主催)

「徳川幕府の転封政策と白河藩」

●日時 8月25日(日)／午後1時30分

●会場 市立図書館りぶらん

地域交流会議室

※申し込み不要(入場無料)

●市立図書館りぶらん ☎3250



【講師】
東京大学史料編纂所教授
山本 博文氏

②学芸員による展示解説会

●日にち 8月10日(土)・11日(祝)・24日(土)、
9月1日(日)・14日(土)・23日(祝)、
10月6日(日)・14日(祝)

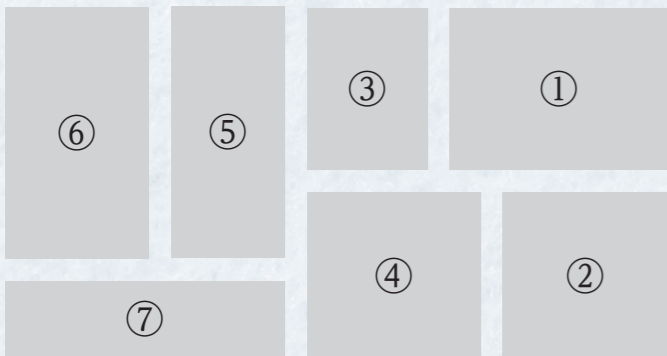
●時間 午前11時、午後2時

※8月10日は午後2時のみ

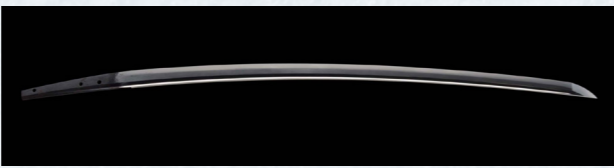
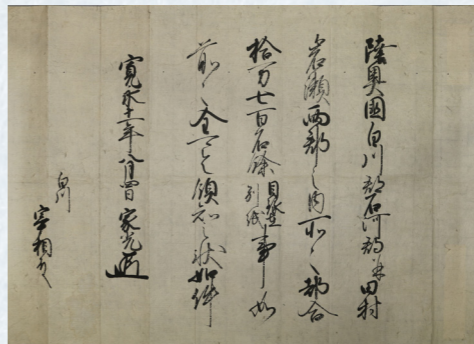
●会場 小峰城歴史館(郭内)

※申し込み不要(入館料が必要です)

●文化財課 ☎272310



- ①徳川家光領知判物 寛永11年(1634) 個人蔵
- ②榊原忠次像(部分) 江戸時代 榊神社蔵
- ③伝本多忠義筆 山水図 江戸時代 市歴史民俗資料館蔵
- ④軍扇 江戸時代 忍東照宮蔵
- ⑤松平直矩像 江戸時代 考顕寺蔵 (群馬県指定文化財)
- ⑥松平定信筆 関羽像 天明2年(1782) 東京都公文書館蔵
- ⑦刀 無銘(名物横須賀江) 南北朝時代 小峰城歴史館蔵 (国認定重要美術品)



歴代藩主七家の紹介

- ①丹羽家
初代藩主の丹羽長重は、小峰城を石垣を多用した城へ大改修しました。
- ②榊原家
徳川四天王の一人・榊原康政の孫である忠次が、第3代藩主になりました。
- ③本多家
徳川四天王の一人・本多忠勝の孫である忠義と、その子である忠平が、2代にわたり藩主を務めました。
- ④松平(奥平)家
徳川家康の娘を迎えた松平(奥平)家の流れをくむ松平忠弘が、第6代藩主を務めました。
- ⑤松平(結城)家
松平(結城)家の先祖は、中世に白河を治めた白河結城家の本家である下総(茨城県)の結城家です。
- ⑥松平(久松)家
最も長く白河を治めたのが松平(久松)家で、その治世は4代82年にわたります。第12代藩主の松平定信は、幕府老中として「寛政の改革」を行ったことで知られています。
- ⑦阿部家
幕末まで8代にわたり白河藩主を務めました。第20代藩主・正外は、幕府老中として開国問題にあたりました。正外の子・正静が、最後の白河藩主となりました。

企画展の開催概要

- 会場 小峰城歴史館(郭内)
- 時間 午前9時～午後5時
- ※8月10日(土)は正午から開館
- ※入館は午後4時30分まで
- 休館日 8月19日(月)・26日(月)、
9月2日(月)・9日(月)、
17日(火)・24日(火)・30日(月)、
10月7日(月)
- 入館料 大人300円(250円)
小中高生100円(50円)
- ※(一)内は20人以上の団体料金
- 文化財課 ☎272310

